

Contents

- 2 ページ、国産手術支援ロボット「ヒノトリ」を導入
- 3 ページ上段、大腸外科で「ヒノトリ」第 1 例目を実施。執刀医の手応え
- 3 ページ下段、ロボット支援下乳輪温存乳房切除術（R-NSM）を導入しました！
- 4 ページ、学会での発表・受賞のご紹介
- 5 ページ上段、8 階なでしこ病棟にプレミアム個室を新設しました
- 5 ページ下段、第 2 回 みんなで学ぼう！髒がんチーム医療セミナーを開催しました
- 6 ページ上段、知っていますか？当センター病院食の食器について
- 6 ページ下段、初診問診のデジタル化ははじめました
- 7 ページ上段、大阪 4 大オーケストラによるクラシック音楽会を開催しています
- 7 ページ下段 【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 8 ページ上段 寄付者ごほうめい
- 8 ページ下段 ご寄付のお願い

2 ページ

国産手術支援ロボット「ヒノトリ」を導入。がんロボット手術センター

当センターは 2012 年より、従来のふくくうきょう手術よりも精密な手術が可能な手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し、ていしんしゅうせいと安全性の観点からロボット支援手術を積極的に推進してきました。2024 年 7 月にはダビンチを 3 台体制とし、2024 年度のロボット支援手術件数は年間 747 件に達しました。

このたび、手術支援ロボット「ヒノトリ・サージカルロボットシステム」（以下、ヒノトリ）の総代理店であるシスメックス株式会社と共同研究契約を締結し、9 月より国産の手術支援ロボット「ヒノトリ・サージカルロボットシステム」を導入しました。

ヒノトリは、川崎重工業株式会社とシスメックス株式会社の共同出資により設立された、神戸市の株式会社メディカロイドが開発した国内初の手術支援ロボットです。

ヒノトリの特徴。

- ・コンパクトにセッティングできるため、医師の操作スペースを広く取ることが可能
- ・オペレーションアームが 8 軸で構成されており、人の腕のような動きが可能
- ・フルハイビジョン 3D システムによる高精細な画像表示
- ・エルゴノミクスデザイン（人間工学に基づいた設計）により執刀医の負担を軽減

9月10日にはヒノトリを用いた1例目の手術を大腸外科で実施しました（詳細は3ページ別記事参照）。ヒノトリを用いた手術は今後、ほかの診療科へも順次拡大を予定しています。

また、手術支援ロボットが4台体制となったことで、ロボット手術の待機期間のさらなる短縮が見込まれ、より早期に治療を受けていただけるようになります。

当センターでは、今後も先端医療技術を積極的に取り入れ、患者さんに先進的ながん治療環境を提供できるよう努めてまいります。あわせて、がんロボット手術センターでは各診療科の経験とアイデアを生かし、より先進的で安全な手術の研究・開発に取り組んでまいります。

今後とも皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3 ページ上段

大腸外科で「hinotori」第1例目を実施 執刀医の手応え。消化器外科 賀川 義規。

当センター大腸外科では、2025年夏、国産の手術支援ロボット「hinotori（ヒノトリ）」を用いた第1例目の手術を実施しました。対象はちよくちょうエスじょうけつちょうぶがんの患者さんで、ロボット支援高位前方切除術を行いました。自在に動く多関節アームと16:9の高精細3D映像により、骨盤の深部まで鮮明に観察でき、ふくくうきょう手術では難しい部位も安全かつ確実に操作できました。特にアーム同士の干渉が少なく、操作性の高さを実感しました。

当センターにはすでに米国製の「ダビンチ Xi」を3台備えており、数多くのロボット支援手術をおこなっています。そこに「hinotori」が加わったことで、今後は直腸がんにとどまらず、全ての大腸がんを対象にロボット支援手術を展開していく方針です。

大腸外科は、先進的な技術を積極的に取り入れながら、患者さん一人ひとりに安心して受けていただけるがん医療を提供してまいります。

注釈①

高位前方切除術とは、がんがある直腸部分を切除し、腹膜反転部（骨盤底の腹膜が反転して直腸に付着する部位）より上で、切断した腸管をつなぎ合わせる術式のこと。

注釈②

ふくくうきょう手術とは、おなかに小さな穴を開け、そこからカメラ（ふくくうきょう）と専用の器具を挿入して、おなかの中の臓器をモニターを見ながら治療する手術のこと。

3 ページ下段

ロボット支援下乳輪温存乳房切除術（R-NSM）を導入しました！乳腺・内分泌外科 奥野 潤。

乳がん手術ではせいやうせいとていしんしゅうせいが重視される中、当センターでは新たな選択肢としてR-NSMを導入しました。本術式は、脇の下に約3～4cmの小さな切開を1か所設け、手術支援ロボットを用いて、乳頭・乳輪を温存しつつ乳腺をすべて切除する方法です。より精密な手術が可能となり、傷跡が目立ちにくく、優れたせいやうせいが期待できます。

私は国内外での研修を経て、日本乳癌学会より暫定術者として認定を受け、菅野友利加医師、榎本

梨紗看護師、樋口 絢香看護師、野上 沙知香臨床工学技士とともに乳腺ロボットチームを結成、亀田総合病院での手術見学を行い(写真)、高難度新規医療技術審査を通過し導入に至りました。daVinciXiを用いた R-NSM は国内で2施設目、国公立病院では初めてとなります。現在、保険収載に向けた取り組みが進められていますが、現時点では評価療養または自費診療としての提供となります。

導入にあたり、医師・看護師・臨床工学技士のみならず、医事グループをはじめとする多くの部署の支援をいただきました。この場を借りて、関係かくいに深く感謝申し上げます。

今後も症例を重ね、患者さんに安心して満足いただける医療を提供するとともに、本術式の全国的な普及に貢献できるよう努めてまいります。

4 ページ。

学会での発表・受賞のご紹介。

第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会にて最優秀演題賞を受賞。

血液内科・AYA 世代サポートチーム。多田 ゆうま。

「根治困難ながんと診断された小児・AYA 世代患者を対象とした在宅療養生活支援事業の実態調査」で最優秀演題賞を受賞しました。

がん診療に関する世界最大規模の学会「ASCO2025」で最新研究を発表。消化器外科、賀川 義規。シカゴで開催されたがん診療に関する世界最大規模の学会「ASCO2025」にて、進行大腸がんに関する最新の研究成果を発表しました。

日本がん登録協議会 第34回学術集会にてがん対策センターが4つの賞を受賞。

①がん登録実務功労者表彰、政策情報部 花原 さとし。

全国がん登録のシステムトラブルの中、大阪府がん登録の継続に尽力

②最優秀口演賞、疫学統計部 島津 みづき。

統合失調症を併存している患者に対するがん医療の状況評価－大阪府内の多施設データベース研究について発表。

③優秀ポスター賞、疫学統計部 石田 理恵。

大阪府内がん診療連携拠点病院等の院内がん登録情報を用いた複数医療機関で連携して施行する初回治療の現状について発表。

④都道府県がん登録室賞、大阪府がん登録室。

日本がん登録協議会第34回学術集会愛知大会（JACR2025、6月5日・6日）の総会・がん登録実務功労者表彰式・都道府県がん登録室表彰式・優秀演題賞表彰式において、がん対策センターが4つの

賞（職員3つと大阪府がん登録室）で表彰されました。

5 ページ上段。

8階なでしこ病棟にプレミアム個室を新設しました。経営改革グループ 松岡 和重。

2025年1月、8階なでしこ病棟にプレミアム個室（全5室）を新設しました。各室は、ゆとりのある間取りにソファとミニテーブルを備え、ご家族との面会や読書、お食事など、自由な時間を快適にお過ごしいただけます。

冷暖房も完備し、床は柔らかく温かみのあるカーペット仕様です。冷蔵庫は家庭用と同じ冷凍・冷蔵の2ドアタイプで氷やアイスクリームなども安心して保存できます。

広々とした室内で、心身ともに落ち着いて療養いただけます。

さらに、プレミアム個室には、大阪城を一望できる「プレミアム個室専用談話室」を設けています。ご利用のかただけに解放された特別な空間で、静かな時間をお過ごしいただけます。

なお、2025年10月からはテレビ視聴を無料でご利用いただけます。ぜひこの機会にご検討ください。

5 ページ下段。

第2回 みんなで学ぼう！膵がんチーム医療セミナーを開催しました。

内科・外科系外来 山田 眞佐美。

7月9日（水）に、第2回 みんなで学ぼう！膵がんチーム医療セミナーを開催しました。

第1部は座長に関西労災病院 消化器内科 部長 池澤賢治先生をお迎えしました。池澤先生は昨年度まで当センター膵がん教室の代表を務め、本企画の発案者でもあります。池澤先生の進行のもと、13階さくら病棟の田中豊子看護師長より「チームで支える膵がん治療～膵がん教室の活動～」を、肝胆膵内科 副部長 高田 良司先生より「脈々と受け継がれる当院の膵がん診療 2025」を講演いただきました。

第2部は現膵がん教室代表である、肝胆膵内科副部長の重川稔先生にバトンタッチし、膵がん早期発見プロジェクトで高名な「尾道方式」を構築された、JA尾道総合病院 副院長花田敬士先生に「病診連携を活かした膵がん診療の取り組み」をご講演いただきました。

花田先生のご講演では、当センターに在籍されていた懐かしい先生がたのお名前も登場しました。膵がん診療が脈々と受け継がれていること、そして尊い医療従事者の志が改めて感じられる、素晴らしいセミナーとなりました。

当日は、他施設からの参加も含め、約80名が参加しました。ご参加いただいた皆さま、そして昨年に続き共催いただきましたガーダントヘルスジャパン株式会社に心より感謝申し上げます。

6 ページ上段。

知っていますか？当センター病院食の食器について。

患者さんからいただいたお声。

スタッフの皆さまには大変よくしていただき、感謝しております。

また、食事の際、以前の病院では抗がん剤治療中にプラスチック容器のにおいがつらく、食事がしんどかったのですが、こちらの病院ではすべて磁器の食器で、感動しました。

がん治療専門医療機関として、「食べてもらえる」食事の提供は、栄養管理の柱です。

磁器は色やにおいがつきにくい特徴があります。プラスチック（メラミン）に比べて割れやすいため、取り扱いに注意が必要ですが、当センターでは、既存の提供形式にとらわれない磁器食器によるにおい対策に新病院開設時から取り組んでいます。

6 ページ下段。

初診問診のデジタル化ははじめました。医療情報部 西村 潤一。

現在、初診時には紙の問診票とアレルギー自己申告票を紹介元で入手して、記入していただいています。このたび、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所と日本 IBM と当センターの共同プロジェクトにより、これらの電子化に成功しました。

ご自宅でスマートフォンやパソコンから、紹介元で渡される QR コードを使用してアプリに接続し、入力いただきます。来院当日に、病院側で内容を確認したうえで、電子カルテに自動で反映されます。この機能は誤記の防止、病院での待ち時間の短縮、医療スタッフの記載・入力作業の効率化につながります。

ご自宅での入力が難しい場合には、来院時に院内のタブレット端末から入力していただきます。スムーズな運用へのご協力をお願いいたします。

7 ページ上段

大阪 4 大オーケストラによるクラシック音楽会を開催しています。

当センターでは、大手前への移転を契機に、患者さんのがんストレスの軽減を目的として、月に一度、大阪 4 大オーケストラ（大阪交響楽団・大阪フィルハーモニー交響楽団・関西フィルハーモニー管弦楽団・日本センチュリー交響楽団）によるクラシック音楽会を開催しています。

毎回、さまざまな楽器の編成で、クラシックやポピュラー音楽などバラエティー豊かな曲の演奏や、奏者による楽器紹介や曲の解説もおこなっています。

来場された入院患者さんからも「前向きな気持ちで治療に向き合う元気を頂きました。」などうれしいお声を多く頂いています。

今後も多くの入院患者さんに楽しんでいただけるよう工夫してまいります。現在、入院患者さん限定とさせていただきます（ご面会や付き添いの方はご入場いただけません）

7 ページ下段

はい、こちら「がん相談支援センター」です。

がん相談支援センター 森山 彩香。

File20。かかりつけ医って必要なの？

「大阪国際がんセンターでがん治療を受けているけれど、かかりつけ医も必要なの？」と疑問に思うかたもいらっしゃるのではないのでしょうか。

かかりつけ医とは「健康に関することを何でも相談できる」「必要なときは専門の医師や医療機関を紹介してくれる」「身近で頼りになる医師」と厚生労働省では定義しています。

がんの治療は長期にわたることが多く、がんと上手く付き合っていく必要があります。かかりつけ医に、がんの治療中であることをあらかじめ伝えておくことで、副作用による体調不良（たとえば抗がん剤の副作用で食事や水分がとりにくいときの点滴など）や、別の病気にかかったときも、安心して相談できます。

当センターでは、かかりつけ医と当センターのがん治療専門医が『二人主治医』として、治療や検査の情報を共有し、役割分担しながら連携して患者さんを支える『複数主治医制』を推進しています。これにより、より安心してがん治療を続けていただくことができます。

かかりつけ医をお持ちでないかたには、お住まいの地域や病状に応じて主治医や看護師、がん相談支援センターと一緒に探すお手伝いもしています。お気軽にご相談ください。

8 ページ上段

ご寄付について

寄付者ごほうめい 2025 年 6 月 1 日～9 月 30 日

加藤 順子様、高山 富士夫様、寺岡 洋三様、簗内 茂様、松崎 哲也様、田淵 収様、庄 克彦様、田口 明子様、山田 昭平様、村田 芳良様、原 香澄様、篠木 久美子様、小坂 美里様、大川 敦子様、大野 真弘様、ラン ラン様、馬場 重行様、小泉 穂高様、西野 憲二様、程岡 幹之様、矢野 悟様、大阪プロレス株式会社 代表取締役社長 大林 賢将様、蔵橋 嘉樹様、吉田 幸子様、岡本 守男様、花月 良祐様、西村 多津美様、下門 杉廣様、アガタ ユキノ様、マナベ テルヒロ様、磯田 美智江様、やまなか 香枝子様、有限会社北斗様、向井 闘志様、明石 こうじ様、岸田 太様、中川 果林様、川原田 京子様、高木 勝明様、富家 紀子様、久慈 知明様、山本 信行様、柳田 栄様、株式会社コンサス様、大野 修様、辻本 容治様、たつみ 知宏様、村上 浩一様、藤野 朋子様、シズカ ケイコ様、アガタ ミワ様、松本 智成様、エービーシー・アイビーケー・ヘルスクラブ様、渡辺 美智雄様、田口 正義様、吉川 優子様、漁田 悦子様、前田 幸治様、酒井 真弓様、小林 裕弘様、木村 吉秀様、高見 紀久雄様、水野 久雄様、遠山 里香様、遠山 久様、近藤 キミ様、瑞穂化成工業株式会社様、上段 敦子様、本田 宗一さま。他 匿名者 29 名。

このたびもさまざまな個人や法人のかたがたから、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。温かいお心遣いに感謝するとともに、ご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療とサービスを提供してまいります。

8 ページ下段

ご寄付のお願い。

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たるセンターでありたいと考えています。患者さんの治療環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆様からのご支援をお願いしています。

奥付

オーアイシーアイだより 2025 年秋号〈季刊〉

特定機能病院／地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181（代表）

2025 年 10 月発行

◆電車でご来院の場合

大阪メトロ「たにまち四丁目駅」北改札口から徒歩約 5 分／京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約 10 分

◆バスでご来院の場合

大阪シティバス「大阪城大手前駅」より徒歩 4 分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「ほうえんざか出口」より約 5 分／東大阪線「森のみや出口」より約 8 分

【提携駐車場】

- ① エコロパーク大阪府庁駐車場
- ② 谷町筋地下駐車場（入り口は北向き 1 カ所のみ）

ほじょけんも同伴いただけます

ホームページ <https://oici.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/OICI.jp>

ライン <https://lin.ee/ZOcDHhU>

インスタグラム @oici_1181